

日向市美々津(宮崎県)

(1) 保存地区の概要

地区名	日向市美々津
種別	港町
面積	約7.2ヘクタール
選定年月日	昭和61年12月8日
特徴	<p>江戸時代、秋月氏の領有する高鍋藩の港町として発展した地区。備前屋・河内屋などの屋号をもつ廻船業者が瀬戸内や大阪方面を取引先として商売し、その繁栄ぶりは美々津千軒ともうたわれた。</p> <p>地区には、江戸時代末期～昭和戦前期にかけて建てられた伝統的な町屋が残り、当時の面影を伝えている。</p> <p>なお、美々津は神武天皇東征の伝説があり、それに関係する歴史や伝説にちなんだ伝統行事が残っている。</p>



(2) 保存地区のあゆみ

昭和55年(1980)	安政2年建築の「旧河内屋」が市に寄贈される
昭和58年(1983)	「旧河内屋」の改修工事を終え「日向市歴史民俗資料館」として開館。 美々津の歴史的町並みを守る会が設立され、町並み保存運動が始まる。
昭和61年(1986)	『重要伝統的建造物群保存地区』選定
昭和63年(1988)	新ひむかまちづくり塾「美々津軒」を開設
平成5年(1993)	お休み処「美々津まちなみセンター」を開設
平成8年(1996)	美々津重要伝統的建造物群保存地区選定10周年記念事業を開催
平成9年(1997)	「美々津まちなみ防災センター」を開設
平成11年(2000)	「美々津まちなみ広場」公衆トイレを開設
平成19年(2008)	「美しい日本の歴史的風土100選」選定
平成28年(2017)	美々津重要伝統的建造物群保存地区選定30周年記念事業を開催

日向市美々津(宮崎県)

(3) 保存地区の保存と整備

33年をかけて、特定物件92件中76件(82%)の修理が終了しました。

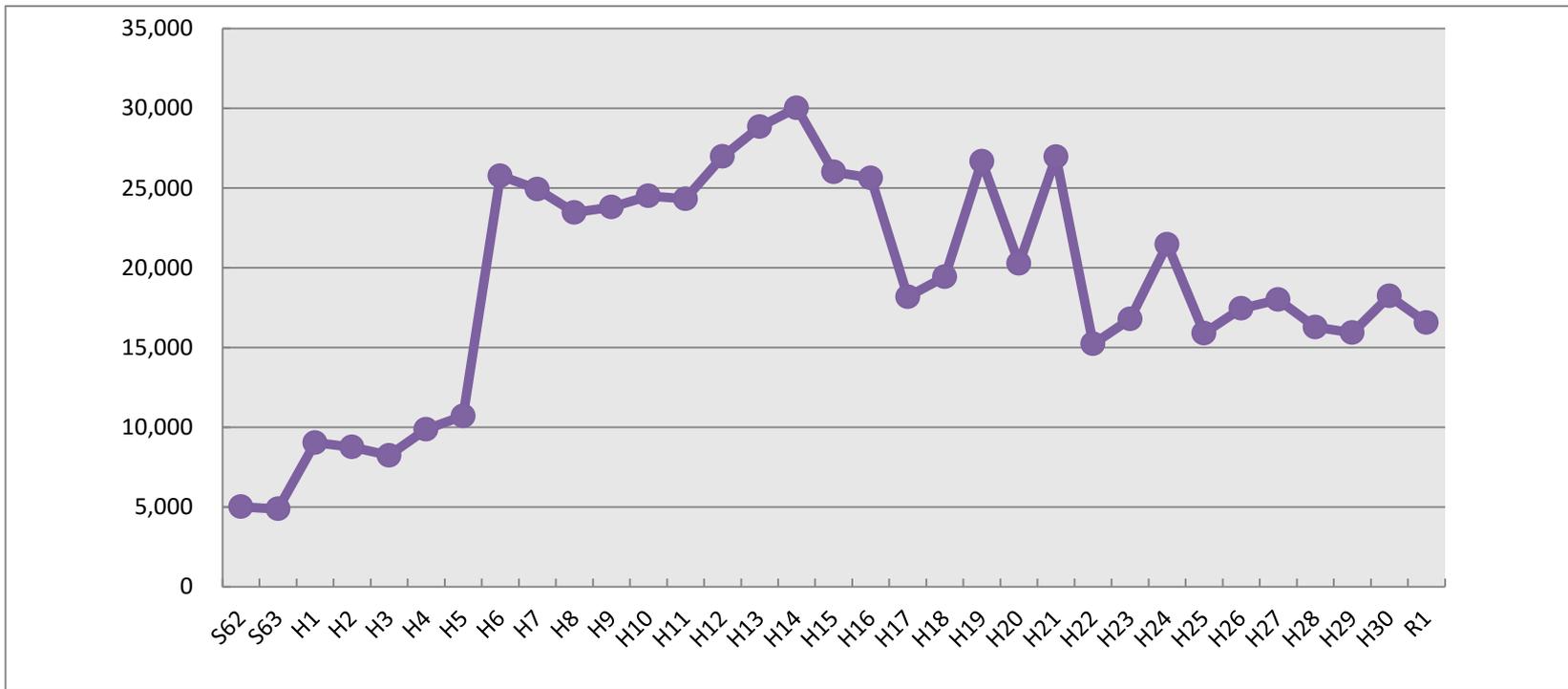


修景事業は30件が終了しています。



(4) 保存地区の活用とまちづくり

地区内施設の総来場者数の推移



伝統行事、イベント



おきよ祭り



美々津権伝馬踊り



おひなさん祭り



日向市美々津(宮崎県)

(5) 住民等の取組



新ひむかまちづくり塾「美々津軒」を管理している団体の会長の話

選定前、私は文化財に対して興味がなく、建物は取り壊すつもりでいました。市の担当者と毎日のように協議を続ける中で、町並みを守ることの重要性に気付き、地区のため、建物を保存する決断をしました。

ここに生きる人々が、歴史的な建造物と共にいつまでも豊かに暮らせる地区を目指しています。

お休み処「美々津まちなみセンター」を管理しているみなさんの話

県内外、老若男女様々な方がお越しくださっています。「町の雰囲気素敵です。」「ゆっくりとしたひとときを過ごすことができました。」「懐かしい町の姿を楽しむことができました。」などの感想をいただいています。

多くの人に愛される町になるように、町の女性陣でおもてなしを頑張っています。



地区内で使用している郵便ポスト。神武天皇のお船出をモチーフにしています。



消火器のカバーや案内看板を作るなどして、町並みにふさわしい景観づくりに努めています。



まちなみセンターで手作りしている「お船出だんご」も神武天皇の伝説に由来するものです。

